

博物館収蔵資料の紹介⑪

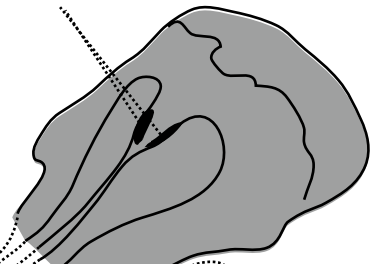
1994年に新種として発表された

絶滅イルカ ケントリオドン・ホベツ

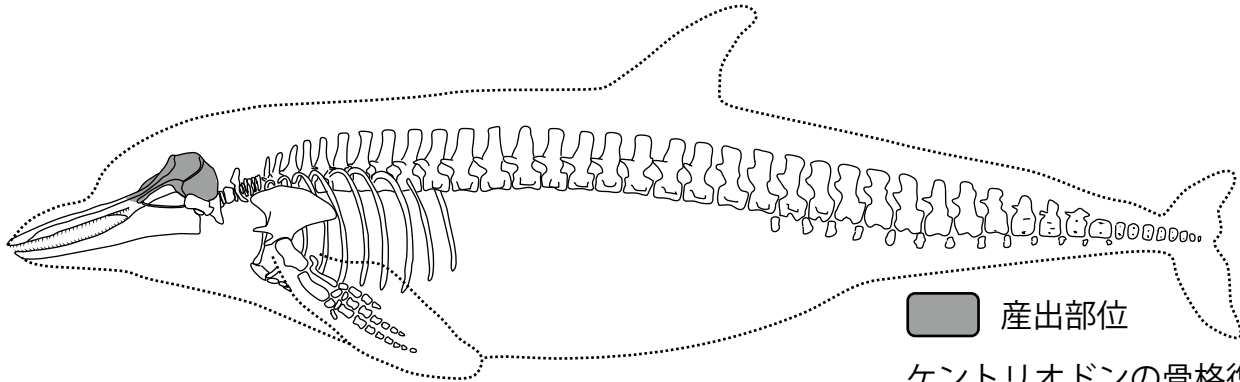


5 cm

鼻の位置



目の位置



産出部位

ケントリオドンの骨格復元図

発見 穂別町立博物館の学芸員が1987年9月の地質調査中に発見しました。弱い酸などを使い、丁寧にクリーニングされました。

産出部位 頭骨の後半部 **産出地・地質時代** 穂別市街北のパンケオビラルカ沢・転石ですが、産した地点から中新世滝の上層（約1,500万年前の地層）に由来すると考えられています。

研究 頭骨を構成する骨の形から漸新世後期～中新世中期（約2,800万年から1,100万年前）にかけて世界中で生息していたケントリオドン科イルカ（＝小型のハクジラ）であることが分かりました。日本からはそれまでに三重県や岐阜県、最近では北海道日高町からもケントリオドンは発見されています。

穂別産の標本は骨の癒合の程度などから未成熟の比較的若い個体であるとされました。また、頭骨を構成する骨の形が他の種と異なるため、1994年に新種ケントリオドン・ホベツ *Kentriodon hobetsu* として記載されました。現在まで日本産ケントリオドン属のなかでは唯一、種名が付けられたものです。全長は約2mと考えられています。

研究*は一島啓人先生（当時ニュージーランド・オタゴ大学大学院、博士課程学生）によって行われました。

*一島啓人, 1993. 北海道穂別町滝の上層産出の化石イルカ. 穂別町立博物館研究報告, 第9号, p. 37-44.
 Ichishima, H., 1994. A new fossil kentriodontid dolphin (Cetacea; Kentriodontidae) from the Middle Miocene Takinoue Formation, Hokkaido, Japan. *Island Arc*, vol. 3, p. 473-485

普及講演会「穂別恐竜 発掘最前線！！」

2014年9月は、第二次穂別恐竜発掘を行っています。発掘期間中に普及講演会を開催します。

2014年9月23日(火・祝) 16:00-18:00

穂別町民センター(むかわ町穂別総合支所隣接) 集会室(先着200名、
それ以上の場合は立ち見) 参加無料

16:10-16:25 「穂別恐竜の発見と発掘の経緯」 櫻井和彦(穂別博物館 学芸員)

16:25-16:40 「穂別恐竜が産した地層と産状について」 西村智弘(穂別博物館 学芸員)

16:50-17:40 「北米から穂別へ：ハドロサウルス科の長い旅」

小林快次氏(北海道大学総合博物館 准教授)

17:40-18:00 質疑応答等



第二次穂別恐竜発掘 準備中

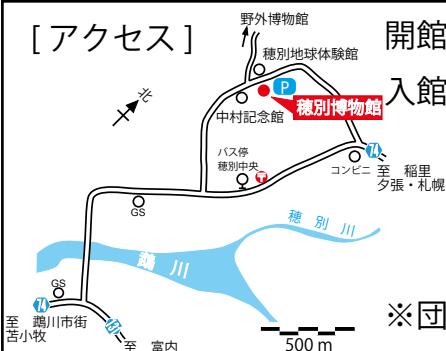
2014年8月23日
の様子

2014年の9月初旬から末にかけて穂別産ハドロサウルス科恐竜の第二次発掘が計画されています。

第二次発掘の準備として、大掛かりな工事が進められています。恐竜が産したのは写真の崖の中腹で、安全に発掘を進めるために崖を後方に大きく移動させる工事が進められています。

今年の発掘でもたくさんの骨化石が採集されることが期待されています。発掘の成果については、11月に発行予定のホッピーだより No. 360 以降で紹介します。また、発掘の様子は穂別博物館ブログ (<http://pomu.town.mukawa.lg.jp/1086.htm>) に発掘期間中から掲載する予定です。

[アクセス]



開館時間 9:30~17:00 (最終入館 16:30)

入館料 個人/小~高校生: 100円

大人 300円

団体/小~高校生: 50円

大人 200円

※団体は10人以上 ※小学生未満は無料

穂別市街のガソリンスタンドは夜間と日曜日は営業していませんのでご注意ください。

休館日

9月

1(月) 8(月)
16(火) 17(水)
22(月) 24(水)
29(月)

10月

6(月) 14(火) 15(水)
20(月) 27(月)

町民無料観覧日

9月15日(月・祝)

(敬老の日)